

北炭幾春別炭鉱錦立坑櫓 / 三笠市



～現存する道内最古の立坑～

1885（明治18）年に開鉱した北炭幾春別炭鉱は、坑道の深部化により坑口を集約し効率化を図るため1919（大正8）年に錦立坑を掘削しました。立坑深度214m、内径4.9m、立坑櫓高さ約10mで、現存する立坑としては道内最古です。1953（昭和28）年に上流の桂沢ダム建設を機に出炭を停止、1954（昭和29）年には自然発火による火災が発生したことから坑道を水没させ、1957（昭和32）年に正式に閉山しました。

| | |
|------------------|---|
| 住所 | 〒068-2111 三笠市幾春別錦町1-212-1 |
| 公開状況 | 見学可能 |
| アクセス （自動車） | 札幌から約54km 約42分 【道央自動車道 三笠IC降 約15分】 |
| アクセス （公共交通機関） | 札幌から約1時間30分 JR函館本線 岩見沢駅降車～中央バス 幾春別町バス停降車～徒歩0.8km |
| 問い合わせ | 三笠ジオパーク推進協議会 電話：01267-2-3997 E-mail：mikasa.geopark@gmail.com |
| URL | http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/ |